

# 一般社団法人 鳥取県作業療法士会

## 令和4年度 事業に関する社員へのお知らせ

### ◎事務局

#### 1. 入会・休会・退会および会員情報の変更について

入会・休会・退会および会員情報の変更（勤務先の変更、改姓、連絡先の変更）がある場合は、鳥取県作業療法士会のホームページより必要書類をダウンロードし、事務局へ提出をお願いします。

入会時に記入いただいた情報に基づき、広報誌の発送や各種情報発信を行っております。確実に情報が行き届くよう、職場の異動など会員情報に変更がありましたらお早めにご連絡いただきますようお願いいたします。

※休会は年度単位となります。休会を希望される年度の前年度3月31日までに休会届を提出してください。年度途中での休会はできませんのでご注意ください。

#### 【鳥取県作業療法士会事務局】

YMCA 米子医療福祉専門学校 作業療法士科

〒683-0825 米子市錦海町3-3-2

TEL : 080-2930-5010 (事務局直通) E-Mail : [jimu@tottori-ot.or.jp](mailto:jimu@tottori-ot.or.jp)

\*入会・異動(改姓含む)・休会・退会など、全ての手続きを1か所で行います



#### 2. 情報配信について

研修会のお知らせ、ホームページの更新情報などを入会届に記載いただいたメールアドレス宛に適宜お送りしております。配信の停止、配信先の追加を希望される方は [jimu@tottori-ot.or.jp](mailto:jimu@tottori-ot.or.jp) までご連絡ください。

※ 携帯のキャリアメールは、添付ファイルが開けない場合がありますのでご遠慮ください

#### 3. 会員歴証明書の発行について

認定作業療法士の更新等で会員歴証明書が必要な方は、①氏名、②所属、③協会会員番号、④用途、⑤送り先（特に記載がない場合は勤務先にお送りします）を明記の上、件名を「会員歴証明書発行依頼（会員氏名）」とし、事務局（[jimu@tottori-ot.or.jp](mailto:jimu@tottori-ot.or.jp)）へご連絡ください。

なお、依頼後お手元に郵送されるまでに1~2週間程度かかります。余裕をもって早めの申請連絡をお願いします。

#### 4. 相談先について

令和4年度、当士会は弁護士との顧問契約を行っております。契約内容として正会員への法律相談も行っておりますので、ご利用をご希望の際は直接弁護士事務所へご連絡ください。

なお、当士会与利益相反が生じる相談は対象外となりますので予めご了承ください。

顧問先弁護士：米子東町法律事務所（鳥取県米子市東町296 TEL：0859-33-1019）

## ◎財務部

### 1. 会費の納入期限について

①金額：5,000円

②納入期限：令和4年5月末日（新入会員は7月末日）

③納入方法：

1) ゆうちょ銀行振替口座へ払込み（郵便局ATMや窓口）

- ・口座記号番号：01310-2-51220
- ・口座名称：一般社団法人鳥取県作業療法士会
- ・通信欄に必ず『〇〇年度』『氏名』『所属施設（自宅会員の場合は「自宅会員」）』『金額』『住所』を記載し、記入漏れがないよう注意すること。
- ・複数名分をまとめて振り込む場合は必ず全員の氏名を記載すること。

2) 他行からの振込み（他行ATMやネット銀行）

- ・金融機関名、支店名：ゆうちょ銀行、一三九(イサノキョウ)店
- ・口座種別、口座番号：当座、51220
- ・口座名称：一般社団法人鳥取県作業療法士会
- ・原則、自身の口座からの振込み、また振込人氏名の前には協会会員番号を入力して振込みを行うこと。  
法人名義の口座や複数人まとめて振込みをする際は協会会員番号、所属、氏名、納入金額を以下まで連絡すること。
- ・会員管理担当理事：田中 寿美 E-Mail：zaimu@tottori-ot.or.jp

④注意事項：

- ・総会にて会費納入は受け付けない。
- ・入会手続き時に事務局支局へ現金書留等による会費の郵送は行わないこと。  
(入会手続きは事務局支局の担当だが、会費徴収は財務部の担当)
- ・年会費を納入した会員のみ県士会が催す勉強会や研修会、県学会に参加することができる。
- ・領収証を紛失した場合、再発行はできない。
- ・ゆうちょ銀行へ入金した場合は、受領証が領収証の代わりとなる。

### 2. 部局・委員会の経費の取り扱いについて

①各局・委員会の年度支出報告：3月第1土曜日で締め切る。

②講師への報酬料、旅費は費用弁償規程に準じて決める。報酬料は源泉徴収額を引いた金額を講師へ支払い、源泉徴収分は支払いのあった翌月10日までに納税する。また、外部講師の交通費は公共交通機関の領収証がなければ個人所得となるため源泉徴収が必要となり納税をしなければならない。

③テーマ別勉強会補助金支給：支給の希望があれば学術部長まで申し出ること。

\*注意事項：補助金の支出は、必ず領収証を「一般社団法人鳥取県作業療法士会」宛でとること。

当該年度の決算報告は学術部長宛に、2月の第4土曜までに行うこと。

補助金の余りは必ず学術部長まで返金すること。

### 3. 会員の経費受給時の領収証について

①会員名で受取できる経費は費用弁償規程、出張旅費規程に定める項目とする。

②会員名での受取時は、領収証に自宅住所、氏名を記入し、必ず押印（認印）する。住所は自宅住所であり勤務先の住所を記入しない。

### 4. ボランティア保険について

毎年、当士会では、年度始めから4カ月ごとの3期に分けて、「スポーツ安全保険」（通称：ボランティア保

険) という団体保険に加入している。保険の有効期間は1年間で**県士会事業に携わる会員のみ加入**となっている。

ボランティア保険とは、ボランティア活動等を行う団体が、団体が行う**活動中の事故**、団体が指定する**集合・解散場所**と被保険者の住所との**通常の経路往復中の事故**、に対して保障される保険である。

県士会活動中の事故、または移動中の事故等があった場合は、財務部、または事務局に連絡すること。

加入区分はA2区分になる。

| 2 加入区分・掛金・補償額   |  | ◆ 掛金が改定されましたのでご注意下さい。  |                 |                        |
|---|--|--|-----------------|------------------------|
| 一般団体の加入区分   |  |  |                 |                        |
| 加入対象者   | 補償対象となる団体活動  | 加入区分   | 年間掛金<br>(1人当たり) |                        |
| <b>5</b> 団体活動を行う<br>5名以上の方までご加入ください。<br>加入区分は加入者全員に<br>ご適用ください。 | <b>子ども</b><br>スポーツ・文化・ボランティア・地域活動<br>   | <b>A1</b>  | 800円            |                        |
|   | <b>中学生以下</b><br>特別支援学校<br>高等部の<br>生徒を含む。<br>上記団体活動に加え、個人活動も対象<br>AW区分の特徴：個人活動・個人練習なども補償の対象となります。   | <b>AW</b>  | 1,450円          |                        |
|   | <b>高校生以上</b><br>65歳以上の方も加入できます。  | 文化・ボランティア・地域活動、団体員の送迎、応援、準備、片付け<br>※ボランティア、地域活動であっても、スポーツ活動(ダンス・踊りを含む。)を行う場合は補償の対象となりません。C区分でご加入ください。<br>※子どもを相手にスポーツ活動を行う大人は指導者の扱いとなり、AC区分またはC区分となります。<br>※団体員の送迎の際、自動車事故によって賠償責任を負った場合、賠償責任保険は補償の対象となりません。 | <b>A2</b>       | 800円                   |
|   | <b>大人</b><br>スポーツ活動(ダンス・踊りを含む。)<br>スポーツ活動の指導・審判<br>子どものスポーツ活動(ダンス・踊りを含む。)の指導・審判<br>※高校生以上の方への指導や、大人だけのスポーツ活動は補償されません。C区分でご加入ください。<br>※スポーツ活動以外の指導者はA2区分となります。<br>※団体員の送迎、応援、準備、片付けも補償の対象となります。 | <b>C</b>   | 1,850円          |                        |
|   | <b>65歳以上</b>   | スポーツ活動(ダンス・踊りを含む。)<br>※スポーツ活動を行わない方はA2区分となります。<br>平成24年4月1日と掛金の支払い手続きを行った日のいずれか遅い日の満年齢が65歳以上の方が対象です。   | <b>AC</b>       | 1,300円<br>C区分でも加入できます。 |
| <b>全年齢</b>  | 危険度の高いスポーツ活動<br>※該当する種目は、下記各種解説をご覧ください。<br>・山岳登山 ・アメリカンフットボール  | <b>D</b>   | 11,000円         |                        |

## ◎広報部

### 1. 会員のみなさまへ

#### (1) ホームページの閲覧

会員に向けての情報は基本的にホームページへ掲載します。日頃からホームページの閲覧をお願いいたします。

なお、今後はSNSを活用した情報発信も検討しております。

ホームページアドレス：<https://tottori.ot.or.jp>

#### (2) ホームページへの記事掲載依頼

ホームページ(ホーム→部局・委員会→広報部→ホームページ掲載依頼)より掲載依頼書をダウンロードし、必要事項を記入し [tsumugi.pr.team@gmail.com](mailto:tsumugi.pr.team@gmail.com) (広報部員 田中圭介:デイサービスつむぎ) へ提出してください(令和4年4月1日時点)。掲載依頼についての最新情報は、ホームページの該当ページをご参照ください。

#### (3) メールでの一斉送信

メールでの一斉送信は、発信元は事務局に限り、その内容は【緊急性が極めて高く、早急に会員に周知する必要があると会長が判断したもの】に限定していますのでご承知おきください。

#### (4) 県士会公式 SNS の紹介

鳥取県作業療法士会公式 LINE アカウントを開設しています。会員の皆さまにおかれましては、是非アカウントの登録をお願い申し上げます。

- ・公式 LINE アカウント <https://lin.ee/uUvb1Rk>

LINE アプリの友だちタブを開き、画面右上にある友だち追加ボタン>[QR コード]をタップして、コードリーダーでスキャンしてください。



#### 2. 新規入会の方へ（県士会ニュースへの自己紹介掲載について）

広報部では年4回、鳥取県作業療法士会ニュース（県士会ニュース）を発行しており、その中で、新入会員の方を紹介するコーナーを設けています（通常6月発行分）。

今年度も紹介する予定です。入力頂いた情報は本コーナーのみで使用します。新入会員の皆様は同意の上で下記フォームに必要事項を入力し送信していただきますようよろしくお願いいたします。

<https://forms.gle/Xh6u6ZKjg9gwiivB8>

※項目：氏名、事業所名、出身校、OTを目指した理由、OTとしての抱負

〆切は2022年5月20日23時までです。ご協力をお願いいたします。



### ◎学術部

#### 1. テーマ別勉強会のご案内

|   | テーマ別勉強会       | 代表者氏名 | 所属            |
|---|---------------|-------|---------------|
| 1 | 東部地区全般勉強会     | 田中 圭介 | デイサービスつむぎ     |
| 2 | 中部精神科勉強会      | 竹田 佳弘 | 倉吉病院デイケア      |
| 3 | 中部地区合同勉強会     | 松本 周三 | 三朝温泉病院        |
| 4 | 西部精神科勉強会      | 安井 愛美 | 大山リハビリテーション病院 |
| 5 | 西部福祉用具・住環境勉強会 | 米澤 啓道 | 特別養護老人ホームゆうらく |
| 6 | CVA 勉強会       | 山本 未来 | 錦海リハビリテーション病院 |
| 7 | 作業を考える会       | 鬼木 徳子 | 介護老人保健施設やわらぎ  |
| 8 | 特別支援教育（東部・中部） | 谷口 弘  | 中部療育園         |
| 9 | 特別支援教育（西部）    | 門脇 達也 | 養和病院          |

#### 2. テーマ別勉強会への登録と参加

- (1) 県士会員はいずれかのテーマ別勉強会に所属することになっています。登録がまだの会員は速やかに登録をお願いします。

(2)勉強会に登録または登録抹消依頼は各勉強会の代表者に連絡して下さい。詳細は県士会ホームページの学術部のページをご確認ください。

### 3. 第18回鳥取県作業療法学会演題募集

鳥取県作業療法学会では現在演題を募集しております。今年は対面とZoomを用いたハイブリッド学会を予定していますので、口述発表のみとなります。

詳細は、鳥取県作業療法士会のホームページ（お知らせ→鳥取県作業療法学会）をご確認ください。皆様からの演題をお待ちしております。

### 4. 査読者登録の協力依頼

鳥取県作業療法学会では、登録演題に対し一定の質を担保するために査読を行っています。査読は演題を落とすという視点ではなく、応募のあった演題をさらに発展させ、より良いものにしていくという教育的観点で行います。そのため、査読者には一定の基準を設け、更なる査読の質を向上させるために査読者を募集しています。学術部のホームページに詳細を掲載していますので各自ご確認ください、積極的な応募をお願いします。

また、近くに適任と思われる方がおられましたら是非登録を勧めていただけると幸いです。

## ◎教育部

### 1. 会員ポータルサイトについて

①会員の皆様が取得した基礎ポイントや研修会などの受講歴等は、日本作業療法士協会のホームページの「会員ポータルサイト」より確認することができます。

②2020年度からはポイントシールや県士会印は廃止となりました。その為、対面で行う研修会等では「研修受講カード」が必要となります（現時点ではほぼWeb研修となっておりますので「研修受講カード」を使用することはありませんが、いつでも使えるよう準備を願います）。詳しくは日本作業療法士協会誌の「「研修受講カード」お手元にありますか？」の記事をご参照ください。

### 2. 生涯教育制度について

日本作業療法士協会のホームページ資料をご覧ください。

日本作業療法士協会ホームページ>会員向け情報>生涯教育のページにて「生涯教育制度の概要（手帳の電子化・手帳の移行について）」「eラーニング講座について」「基礎研修について」「認定作業療法士制度について」「専門作業療法士制度について」「制度推進について」「手続き等について」「専門作業療法士審査について」「認定作業療法士審査について」「試験について」「臨床実習審査について【臨床実習指導施設認定】」の資料が掲載されています。

認定作業療法士取得共通研修「教育法」は2020年度より「臨床実習指導者講習会」に包含されることとなりました。詳しくは日本作業療法士協会誌第92号の“臨床実習指導者講習会の生涯教育制度への統合について”の記事をご参照ください。

### 3. 現職者共通研修会について

前期・後期の現職者共通研修会はホームページで案内します。申し込みは案内に従い、行ってください。参加は日本作業療法士協会および鳥取県作業療法士会の会員であることが必須条件です。申込から入会手続き完了まで2ヶ月程度かかることがありますので未入会の方は早急に入会手続きをお取り下さい。（入会が間に合わず参

加できない場合があります)

#### 4. 現職者選択研修会について

以下のように開催が予定されています。(領域対策部担当)  
中国ブロックでは4領域を分担して開催が予定されています

|    | 2022 | 2023 | 2024 |
|----|------|------|------|
| 鳥取 | 精神   | 身体   | 老年期  |
| 島根 | 老年期  | 身体   | 精神   |
| 岡山 | 身体   | 発達   | 老年期  |
| 広島 | 老年期  | 精神   | 身体   |
| 山口 | 身体   | 老年期  | 精神   |

#### 5. 事例報告会について

テーマ別勉強会で開催する事例報告会は「現職者共通研修会」として認定されますので勉強会への登録と関係なく参加できます。参加希望者はホームページの案内に従い、申込みください。  
なお、開催は4月～2月です。

#### 6. 基礎研修ポイントについて

SIG および士会主催・共催研修会の参加および、事例報告登録制度登録にてポイントが付加されます。

##### 【ポイント数】

士会主催・共催：参加90分～1日：2ポイント、2日以上：4ポイント、発表・講師：2ポイント  
SIG 主催：参加90分～1日：1ポイント、2日以上：2ポイント、発表・講師：1ポイント  
事例報告登録制度への登録1事例：4ポイント

### ◎認知症対策委員会

#### 1. 県士会認知症研修会のテーマ・受講登録について

(1) H27年度から以下6つのテーマに基づいて研修内容を企画し、会員の研修受講状況の確認ならびに県士会からの派遣人材候補者として登録・リスト化しています。

A：認知症の正しい理解      B：認知症・生活障害アセスメント      C：認知症支援方法論  
D：家族・地域支援方法論      E：認知症初期集中支援      F：行政からの情報など

#### 2. OT協会認知症アップデート研修について

##### (1) 研修概要

H28年度から各都道府県に認知症推進委員を設置し、令和2年度からは「士会における認知症への取り組みを推進する担当者同士の情報交換会」によるOT協会との連携体制整備が図られています。その一環として、H29年度からOT協会認知症アップデート研修を各県士会単位で開催しており、OT協会が作成した研修要項に基づいて、地域・介護・医療のどの領域においても認知症に対応できる知識を修得することを目的としています。令和4年度からは各県士会で最新かつ必要な情報を適宜盛り込みながら研修を開催していく形になります。県士会として、引き続き会員の受講状況を登録していき、県内自治体における認知症施策へのOT活用推進を図ります。

### 3. OT 協会認知症アップデート研修開催要項

#### (1) 研修の目的・ねらい

地域・介護・医療のどの領域においても認知症に対応できる作業療法士を確保するために、認知症に関する最新かつ最低限の知識を修得する。

#### (2) 到達目標

- ①世間一般の（世界、日本）の中で認知症の人が置かれている現状を把握している
- ②認知症の最低限の医学的、症候学的特徴を理解している
- ③BPSD への対応方法を、精神医学的、環境要因的、個人因子的視点から考えることができる
- ④最低限の治療・アセスメントについて知っている
- ⑤医療保険、介護保健、地域における認知症作業療法の実践と課題について最低限のことを知っている

#### (3) 開催要項

| 研修の構成                           | 具体的内容・要点  | 時間   |
|---------------------------------|---|------|
| 1. 世界および日本における認知症の課題            | <ul style="list-style-type: none"> <li>・我が国および世界の認知症の現状</li> <li>・地域包括ケアシステムと認知症施策推進総合戦略</li> <li>・認知症ケアの歴史の変遷と将来展望など</li> </ul>                    | 30 分 |
| 2. 認知症の障害の本質と認知症原因疾患への理解        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・DSM-5 と社会的認知障害の理解</li> <li>・認知症の原因疾患（MCI、若年性含む）</li> <li>・認知症の重症度（評価と特徴）など</li> </ul>                       | 60 分 |
| 3. 行動・心理症状（BPSD）の原因・背景及び障害構造の理解 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・行動・心理症状（BPSD）が出現する原因の理解</li> <li>・行動・心理症状（BPSD）と心理的要因・基本的対応方法</li> <li>・行動・心理症状（BPSD）の改善に向けた取り組み</li> </ul> | 60 分 |
| 4. 認知症作業療法におけるアセスメントとマネジメント     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・アセスメント</li> <li>・マネジメント（申し送り含む）</li> </ul>  | 60 分 |

### 4. 認知症研修会等修了状況(令和4年3月1日現在)

(1) 認知症研修6テーマ受講修了者 111 名

(2) OT 協会アップデート研修受講修了者 175 名

(3) 認知症初期集中支援チーム員研修受講者 6 名/伝達講習受講者 90 名(他職種含む)

※研修修了者を中心に各種事業協力派遣、視察・研修派遣を行っています。

※研修会は鳥取県地域医療介護総合確保基金の助成を受けて開催しています。